

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- 保護者・地域住民の方々が学校づくりに主体的に参画できる協議会を設置し、意見の交流や相互理解を通じて地域コミュニティづくりの推進に努める。
- 保護者や地域の方々との共同連携による学習支援や児童安全見守り等活動を継続・発展させ、学校・家庭・地域が一体となった児童育成をより一層推進する。
- 継続してきた学校評価をより実効性のあるものへと高め、保護者や地域の方々の願いが反映できる教育活動を創造する。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 年間での取組

<あいさつ運動や下校時の見守り活動>

本地域は、あいさつ運動をPTAと連合自治会や老人会等の地域が連携して行っている。また、下校時刻を放送で知らせたり、通学路に立ったりして、子どもたちの下校を見守ってくれている。



<クリーン作戦>

5月と9月の土曜授業で、PTAと地域自治会が協働し、学校美化活動を実施した。草抜き、落葉拾い、枝払い等学校環境整備に数多くの方の力を得て、とてもきれいになった。



<高花っこ学習発表会>

地区の文化祭では、各学年が、音読劇や合唱・合奏等、これまでに学んできた成果を地域の方々に発表することができた。また、絵画や生け花等地域の人たちの文化作品を鑑賞することができた。



<ふれあい運動会>

プログラムに、学年部ごとにふれあい種目を設けた。地域の人たちが、競技に積極的に参加をしていただき、児童と触れ合うことができた。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- 第1回の学校運営協議会で、地域から「高学年の女子が、タブレットを持って、ライブ中継をしている。自分たちの話を撮影しているが、周りの子どもも映ってしまうので、心配している。」「ここ2~3年、6年生を対象にネットの危険性を伝えている。親にネットの危険性を発信することが大切である。」等の意見があった。

これらの意見を受けて、6年生児童を対象に青少年指導員であり、運営協議会委員の小林理華さんを講師として招聘し、スマートフォンの使い方について講話をしていただいた。スマートフォンが便利なルールであることや使いすぎると健康を介すること、家でのルールを守って使うことなどをわかりやすく説明していただいた。また、保護者に対しても家庭教育講座として、PTAと連携を図りながら、7月に青少年育成室山本正人先生を講師に招いて、「スマホの安全性」についてご講演をいただき、家庭での啓発活動につなげることができた。

- 児童の学校生活様子を参観できるように学校運営協議会を昼の時間を設定した。子どもたちが学んでいる様子等を見ていただいたことにより、「子どもたちが、集中している。」「ともだちとかかわり合いの中で問題に取り組んでいる。」等、その後の意見交換も充実したものとなった。



3 今後に向けて

- 本地域は、教育に関して、関心が高く、協力的なところが強みである。あいさつ運動や児童の下校時の見守り、学校の環境整備等、あらゆる活動で協力をいただいている。今回、地域の声を拾うことで、学校、PTA、地域が連携してスマートフォンに関する指導や啓発活動を行うことができた。今後も、双方向の情報を密にしていきたい。

別紙B

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立高花平小学校

委員長 澤山 至宏

校長 荒木 昌俊

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	第一回学校運営協議会 (19:00～)	委嘱状手交、学校づくりビジョン承認、 学校教育年間活動計画について、意見交換
5		
6	第二回学校運営協議会 (13:15～)	学校生活の様子 (授業参観)
7		
8		
9		
10	第三回学校運営協議会 (9:10～)	学校生活の様子 (リハーサル集会)
11		
12		
1		
2	第四回学校運営協議会 (13:15～)	学校生活の様子 学校関係者評価の実施・来年度の主な予定
3		